No. 11-1

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111125

# 1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	物価高騰	駦対策支援補助金			分				体等への補具 事業に対する	
②支出の根拠	関市介護 要綱	介護事業等物価高騰支援対策支援金交付 類 (3)個人に対する補助金 (4) その他								
③支出先	市内高齢	命者施設、介護サ-	ービス排	是供事業所						
	0 45 1	国の負担は	あり	負担割合			負担額			千円
④国・県の負担	Oなし	県の負担あ	あり	負担割合			負担額			千円
	対象	対 象 食材料費や光熱水費により、著しい影響を受ける高齢者施設等 に								
⑤支出の目的	手 段	手 段 高騰する食材料費、光熱水費の補助 を								で
◎ <b>文</b> Ⅲ07日 II3	受益者	高齢者施設等							が(を)	
	意図が	という状態	態にする							
⑥期間	R 7 年	年 1 月 14 日	~ R 7	7 年 3 月	31 ⊟	補助	開始年度	令和	□ 6	年度
⑦事務局体制	主に	こ市の担当課	〇 主	に支出先団体		-	その他(			)
⑧構成員の負担	〇 負担	担なし	あた	とり	円					

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	K 7							
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	Ī	補助率を定めて	ている→補助率	
①補助金の額					0	単価を定めてし	ハる→算式	施設種別により異なる
(千円)	17, 333	27, 573	22, 09	1	0	定額補助	その他(	)
						概算払	前金払	
②過去における 見直し状況								
@ <b>+</b> .u. <b>+</b> .e. <b>+</b> #	決算額(全	È体) R6歳	入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0 千円
③支出先の決算 の状況	決算額(事	幕業) R6歳	入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0 千円
07 N/N0	R6歳入に占	める補助金	の割合	9	6	全体の決算額	を把握していない	↑ ○ 非該当

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
少女ヨほ	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない	
②劝平压	支出額・補助率は適正か	適正	
	補助の目的は達成できているか	達成できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	_	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	_	

①方 向 性	1現状のまま継続		2補助内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)	4 統合を検討	0	5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	令和6年度で終了。令和7年  	度の多	<b>ミ施は国・県の交付金・</b> 補	助金	の動向により決定。

No. 11-2

ı	田平舗	高齢福祉課	安。郊。艮	健康福祉部	予質車業コード	111125
ı	担当床	同断油性沫	主・印・向	() () () () () () () () () () () () () (	ア昇争未コート	111123

# 1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	低所得	者利用者負	負担額減	免措置			分		75-71112-75-	_ \		補助金など) る補助金など)
②支出の根拠		支阜県低所得者に対する介護保険サービスに係る利 用者負担軽減制度事業費補助金交付要綱 (3)個人に対する補 (4)その他										
③支出先	対象の	サービスを	を提供す	る社会	福祉法人	、等						
<b>小国・周の各</b> 担	なし	国	の負担	あり	負担害	割合			負担額			千円
④国・県の負担	なし	〇県	の負担	あり	負担害	訓合	3/	4	負担額			3 千円
	対象	対象サービスを提供する社会福祉法人等に対し								に対して	5	
⑤支出の目的	手 段	段低所得者利用者負担額軽減制度に係る補助を行うことで								ことで		
<u> Эхшолена</u>	受益者	低所得で	生計が困	国難な要	介護者						が(を)	
意図 利用者負担額を軽減することにより、介護サービスを利用しやすくする										という物	犬態にする	
⑥期間	R 6	年 4 月	1 日	~ R	7 年 3	3 月 3	31 日	補助開	開始年度	平原	戈 12	年度
⑦事務局体制	Ì	に市の担	当課	O È	に支出:	先団体		そ	の他(			)
⑧構成員の負担	〇負	〇 負担なし     負担あり     負担額     あたり										円

#### 2 実績(見込み) 【DO】

2 天候(元色の)	1001								
	R4決算	R5決算	R6決算	TR7予算	算	0	補助率を定めて	ている→補助率	1/2
①補助金の額							単価を定めてし	ハる→算式	
(千円)	91	89		5 1	100		定額補助	その他(	)
							概算払	前金払	
②過去における 見直し状況									
@ <b>+</b> .u. <b>+</b> . <b>c</b> .+ <i>t</i>	決算額(全	È体) R6歳	入	千円	R6	歳出	千円	翌年度繰越額	0 千円
③支出先の決算 の状況	決算額(事	幕業) R6歳	入 2,	098 千円	R6	歳出	2,098 千円	翌年度繰越額	0 千円
97 N/N	R6歳入に占	める補助金	の割合	0. 2	%	0	全体の決算額を	を把握していない	非該当

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適切	
USSIE	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	実績報告により確認	
②劝举注	支出額・補助率は適正か	適正	
	補助の目的は達成できているか	できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	_	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	低所得者の負担が増大する	

①方 向 性	0	1現状のまま継続	2補助内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
© - II				
②課 題				
(改善状況等)				

No. 11-3

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111125

# 1 補助金の内容 【PLAN】

	<u> </u>	- 4										
①補助金の名称	老人福祉旅	拖設土地借上料	に係る補	————— 助	分		一般補助金(E					
②支出の根拠	関市社会福	関市社会福祉法人の助成に関する条例 (3)個人に対する補 (4)その他										
③支出先	社会福祉法	去人武芸会										
	0 451	国の負担な	あり	負担割合			負担額			千円		
④国・県の負担	Οなし	県の負担を	あり	負担割合			負担額			千円		
	対 象社:	会福祉法人武芸					に対して					
⑤支出の目的	手 段 老人福祉施設土地貸借料に係る補助								を行うこ。	とで		
◎ <b>文</b> Ⅲ07日 II3	受益者 要:	介護者							が(を)			
意 図 老人福祉施設(特別養護老人ホーム)に入所できる									という状態	態にする		
⑥期間	R 6 年	4 月 1 日	~ R 7	年 3 月	31 日	補助	開始年度	平成	12	年度		
⑦事務局体制	主に可	市の担当課	0 主に	支出先団体		7	その他(			)		
⑧構成員の負担	〇 負担7	<b>)</b> 負担なし <b>自担あり 負担額 あたり</b>										

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	<u> </u>								
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	\$		補助率を定めて	ている→補助率	
①補助金の額							単価を定めて	ハる→算式	
(千円)	1, 114	1, 114	1, 11	4 1, 1	14	0	定額補助	その他(	)
							概算払	前金払	
②過去における 見直し状況	R7年度に固況 る。	定資産税評価	<b>「額と借地</b> り	料を比べた	結果	、固:	定資産税評価額の	方が高かったためこ	このまま継続す
@ <b>+</b> !!# <b>@*</b> #	決算額(全	È体) R6歳	入	千円	R6点	表出	千円	翌年度繰越額	0 千円
③支出先の決算 の状況	決算額(事	幕業) R6歳	入 1,	<mark>114</mark> 千円	R6点	表出	1,114 千円	翌年度繰越額	0 千円
V ////	R6歳入に占	める補助金	の割合	100.0	6	0	全体の決算額	を把握していなり	ル 非該当

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
UXJE	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
区划平江	支出額・補助率は適正か	適正	
	補助の目的は達成できているか	達成できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	社会福祉法人の経営が危なくなる	

①方 向 性	0	1現状のまま継続	2補助内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
© - II				
②課 題				
(改善状況等)				

No. 11-4

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予質事業コード	112491
坦马林		<del>_</del>	() () () () () () () () () () () () () (	1 # P A - 1	112701

# 1 補助金の内容 【PLAN】

関市福	祉人村	才確保等補助	金		分					
関市福	祉人村	才確保等補助	金交付	要綱		i O (3		する	補助金	
市内の	介護	事業所で新規	採用後	6か月を経過、	また	は社会	福祉士等の	)資格	を取得し	た者他
4- 1		国の負担を	あり	負担割合			負担額			千円
なし	•	〇県の負担を	あり	負担割合	1	/2	負担額		6	600 千円
対象	象 関市内の介護事業所で新規採用後6か月を経過、または社会福祉 士等の資格を取得した者等								に対して	
手 段	補助	金の支給							を行うこ	とで
受益者	介護	従事者							が(を)	
意 図	図 就労意欲、技能の向上を目指すことにより、関市の介不足が軽減される							者	という状	態にする
R 6	年 4	4 月 1 日	~ R	7 年 3 月	31	∃ 補助	開始年度	令和	Π 2	年度
主	主に市の担当課主に支出先団					0 -	その他(	非該	当	)
負	負担なし 負担あり					負担客	頁	あた	とり	円
	The part of th	関市福祉人材 市内の介護 なし 対 象 は 計市等 手 段 補助 受益者 介護 意 図 年 作 日本 1	関市福祉人材確保等補助 市内の介護事業所で新規 なし 国の負担に ○ 県の負担に ○ は、の数となれる 日本 日	市内の介護事業所で新規採用後    なし	関市福祉人材確保等補助金交付要綱  市内の介護事業所で新規採用後6か月を経過、  なし 国の負担あり 負担割合	関市福祉人材確保等補助金交付要綱	関市福祉人材確保等補助金交付要綱    対	関市福祉人材確保等補助金交付要綱    図	関市福祉人材確保等補助金	関市福祉人材確保等補助金交付要綱

### 2 実績(見込み) 【DO】

	<u> </u>									
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	軍		補助率を定めて	ている→補助率		
①補助金の額							単価を定めてい	ヽる→算式		
(千円)	4, 110	4, 090	3, 42	0	0	0	定額補助	その他(		)
							概算払	前金払		
②過去における 見直し状況										
@ <b>+</b> .u. <b>+</b> . <b>c</b> .+ <i>t</i>	決算額(全	È体) R6歳	入	千円	R6j	歳出	千円	翌年度繰越額		0 千円
③支出先の決算 の状況	決算額(事	幕業) R6歳	入	千円	R6	歳出	千円	翌年度繰越額		0 千円
97 N/N0	R6歳入に占	める補助金	の割合	9	6		全体の決算額で	を把握していない	0	非該当

# 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	見直しを要する	
UXJE	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない	
②劝平压	支出額・補助率は適正か	適正	
	補助の目的は達成できているか	あまり達成できていない	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	ある程度向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	介護人材確保が困難になる	

①方 向 性	1現状のまま継続		2補助内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)	4統合を検討	0	5終期を設定		6休止・廃止を検討
	の補助制度は、令和6年原 人材不足は深刻なため、新			<b>゙</b> があ	る。

No. 11-5

		_			
+□ 水 =田	高齢福祉課	<b>京</b> . 却. 巳	ᄻᆄᆿᇃᆌᆉ	マダ市 サー じ	111400
担目床	<b>同断角性</b> 体	至・叩・向	健康福祉部	ア昇事来コート	111400

### 1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市敬	老事第	<b></b> <b>養補助金</b>			分		)一般補助金(			
②支出の根拠	関市敬	関市敬老事業補助金交付要綱 類 (3)個人に対する (4)その他								補助金	
③支出先	敬老事	業を実	<b>尾施する自治</b>	会等団	体						
②国・周の名出	Oなし		国の負担	あり	負担割合			負担額			千円
④国・県の負担	040		県の負担	あり	負担割合			負担額			千円
	対象	79歳.	以上を対象に	二、敬老	事業を実施す	<sup>-</sup> る団体	<b>ķ</b>			に対して	
⑤支出の目的	手 段	79歳.	以上の高齢者	首を対象	に敬老事業の	補助金	交付			を行うこ	とで
	受益者	79歳.	以上の高齢者	Í						が(を)	
	意 図	図 人と人とのつながり、地域のつながりを維持し、高齢者の孤立 という状態にする								態にする	
⑥期間	R 6	年 4	月 1 日	~ R	7 年 3 月	31 E	補助	開始年度	昭和	П 50	年度
⑦事務局体制	Ė	Eに市(	三に市の担当課 〇 主に支出先団体 その他 (								)
⑧構成員の負担	負	負担なし 〇 負担あり 負担額						Į	あか	<b>=</b> 9	円

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	100							
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	Ī	補助率を定めて	ている→補助率	
①補助金の額					0	単価を定めて	ハる→算式	会開催 3,000円/人 記念品 1,500円/人
(千円)	14, 526	14, 924	14, 46	7 15, 6	00	定額補助	その他(	)
					有	概算払	前金払	
②過去における 見直し状況	令和3年度に		000円、記	念品配付:	1,500円		年度からの対象年齢。	冷を75歳以上から
@ <b>+</b> !!# <b>@</b> *#	決算額(全	È体) R6歳	入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0 千円
③支出先の決算 の状況	決算額(事	耳業) R6歳	入 23,	806 千円	R6歳出	23,806 千円	翌年度繰越額	0 千円
97 N.N.	R6歳入に占	iめる補助金	の割合	60.8 9	6 O	全体の決算額	を把握していなり	ハ 非該当

#### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	この補助制度の上限額を超えた経費がコ ミュニティ助成金の対象となるため、申
UXJE	類似の補助金はあるか(あれば名称)		請団体の申請誤りを招きやすい。
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか		申請団体の負担に加えて市の事務負担 も大きく、制度の見直しが必要
<b>企</b> 划平压	支出額・補助率は適正か	対象事業と補助単価の検討が必要	も人とく、 前皮の先直しが必安
	補助の目的は達成できているか	ある程度達成している	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	高齢者の外出・交流が減少する	

①方 向 性	1 現状のま	ま継続	<b>)</b>	2補助内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)	4 統合を検	討	ļ	5 終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	高齢者の外出や 念品配布のみ」 自治会が多くな	のどちらか選択で	る事 でき	業であるが、コロナ禍に る制度にした結果、現在	おいも「	て「敬老会開催」と「記 記念品配布のみ」を行う

No. 11-6

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予質事業コード	٠	112040
1 1 H/V		<u> </u>	に水田田山中	1 # F A - 1		112010

### 1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	高齢者	いきい	き住宅改善	助成事	業	分		)一般補助金(			
②支出の根拠	関市高 綱	齢者い	きいき住宅	改善助	成事業実施要	類		)個人に対 )その他	する	補助金	
③支出先	介護保	険を利	]用して住宅	改修を	行う者						
④国・県の負担	Oなし		国の負担	あり	負担割合			負担額			千円
4)国・泉の貝担	しなし		県の負担	あり	負担割合			負担額			千円
	対 象	介護係	呆険を利用し	して住宅	改修を行う者	Í				に対して	
⑤支出の目的	手 段	床段	差の解消や	手すりの	取り付けなど	では宝	己改修	こ対する補	亅	を行うこ	とで
SZMWG#1	受益者	対象	首							が(を)	
	意 図	自宅で	で安全に生活	舌ができ	3					という状	態にする
⑥期間	R 6	年 4	月 1 日	~ R	7 年 3 月	31 ⊨	補助	開始年度	平原	<b>九</b> 12	年度
⑦事務局体制	主	に市の	D担当課	主	に支出先団体	<b>k</b>	0 -	その他(	非該	当	)
⑧構成員の負担	負	担なし	,	負	担あり		負担額	Į I	あ†	<b>:</b> 9	円

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	K 7							
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	Į	補助率を定めて	ている→補助率	
①補助金の額						単価を定めてし	いる→算式	
(千円)	3, 269	2, 844	2, 82	3, 7	<mark>50</mark>	定額補助	○ その他	( 上限25万円から 利用者負担額を控除 )
						概算払	前金払	
②過去における 見直し状況								
@ <b>+.</b> * <b>@</b> .*	決算額(全	È体) R6歳	入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0 千円
③支出先の決算 の状況	決算額(事	幕業) R6歳	入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0 千円
97 N.N.	R6歳入に占	める補助金	の割合	ģ	6	全体の決算額	を把握していな	:い 〇 非該当

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
UXJE	類似の補助金はあるか(あれば名称)	居宅介護住宅改修(介護保険)	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	完了報告により把握	
乙划平江	支出額・補助率は適正か	適正	
	補助の目的は達成できているか	達成できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	低所得者の改修負担増	

①方 向 性	0	1現状のまま継続	2補助内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)				
(以音1)从守/				

No. 11-7

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予質事業コード	٠	112040
1 1 H/V		<u> </u>	に水田田山中	1 # F A - 1		112010

### 1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市	訪問	<b>引理</b>	美容	サー	-ビス	費用即	力成金		5	<u>}</u>	<u> `</u>	一般補助金(				
②支出の根拠	関市	訪問	<b>写理</b>	美容	サー	-ビス	費用即	力成事第	美実施要	类			個人に対 その他	する	補助st	金	
③支出先	訪問	理美	美容·	サー	·ビス	を利	用する	る要介語	護認定者								
<b>小豆 退办各</b> 担	O #:	· I			国の	負担	あり	負担	旦割合				負担額				千円
④国・県の負担	Οな	· L		Į.	県の	負担	あり	負担	担割合				負担額				千円
	対	象	疾病	等の	D理E	申にり	こり外	出困難 <sup>·</sup>	で、要介	门護認	定	を受け	けている者	ž I	に対	して	
⑤支出の目的	手	段	訪問	理美	·容美	ナーヒ	ごス費	用に要	する経費	きの一	部目	助成			を行	うこと	<b>:</b> で
◎ <b>文</b> Ⅲ07日 13	受益	者	要介	·護認	忍定す	者									が(	を)	
	意	図	衛生	的な	↓在5	宅生活	の支	援と家	族の負担	き軽	減	する			とい	う状態	まにする
⑥期間	R	6 -	年	4	月	1 日	~ R	7 年	3 月	31	日	補助	開始年度	令和	ī	5	年度
⑦事務局体制		主	に市	の担	当訓	果		主に支	出先団体	<u></u>	С	) 7	: の他 (	非該	当		)
⑧構成員の負担		負	担な	し				負担あ	り		負	担額		あっ	たり		円

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	1001							
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	Į	補助率を定めて	ている→補助率	
①補助金の額					0	単価を定めてい	ハる→算式	2,000円/回
(千円)	_	178	198	3 2	<mark>40</mark>	定額補助	〇 その他 (	上限8,000円)
						概算払	前金払	
②過去における 見直し状況								
@ <b>+</b> .u. <b>+.</b>	決算額(全	È体) R6歳	入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0 千円
③支出先の決算 の状況	決算額(事	幕業) R6歳	入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0 千円
<b>47</b> [////b	R6歳入に占	める補助金	の割合	9	6	全体の決算額を	を把握していない	↑ ○ 非該当

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
UXJE	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
②劝平压	支出額・補助率は適正か	適正	
	補助の目的は達成できているか	達成できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	経済的負担の増	

①方 向 性	0	1現状のまま継続	2補助内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)				
(以音1)从守/				

No. 11-8

【 担当課 │ <mark>高齢福祉課</mark> │ 室・部・局 │ <b>健</b>	・長福祉部 予算事業コード 112040

### 1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市高	齢者補	i聴器購入費	助成金		分		)一般補助金(				
②支出の根拠	関市高	齢者補	<b>i</b> 聴器購入費	助成金:	交付要綱	類	類 ○ (3)個人に対する補助金 (4)その他					
③支出先	補聴器	徳器を購入しようとする高齢者 										
④国・県の負担	Oなし			千円								
伊国・県の貝担	0 4 0		県の負担	あり	負担割合			負担額			千円	
	対 象 医師により補聴器の装用が必要と判断された両耳40dB以上の高齢者									に対して		
⑤支出の目的	手 段	補聴	#聴器購入費用の一部を助成						を行うこ	とで		
( X ( V ( ) )	受益者	高齢	<b>当</b>							が(を)		
	意 図		ミュニケーションの確保により、閉じこもりを防止し、認知 という状態にする能等低下を予防する。									
⑥期間	R 6	年 4	月 1 日	~ R	7 年 3 月	31 E	補助	開始年度	令和	5	年度	
⑦事務局体制	主	主に市の担当課 主に支出先団体					0 -	その他(	非該	当	)	
⑧構成員の負担	負	担なし	,	負	担あり		負担額	Į I	あ	たり	円	

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	<u> </u>									
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	Ī O	補助率を定めて	ている→	補助率	1	/2
①補助金の額						単価を定めてし	ハる→算	式		
(千円)	_	901	92	0 1, 2	00	定額補助	0 そ	の他(	上限40	, 000円 )
						概算払	前	金払		
②過去における 見直し状況	なし									
	決算額(全	È体) R6歳	入	千円	R6歳出	千円	翌年度網	繰越額		0 千円
③支出先の決算 <b>か</b> の状況 <b>・</b>	決算額(事	幕業) R6歳	入	千円	R6歳出	千円	翌年度網	繰越額		0 千円
<b>37 1770</b>	R6歳入に占める補助金の割合			9	6	全体の決算額を	を把握し	ていない	0	非該当

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
USEL	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
②劝华压	支出額・補助率は適正か	適正	
	補助の目的は達成できているか	ある程度達成できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	経済的負担の増	

①方 向 性	0	1現状のまま継続	2補助内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)				
(以音1)从守/				

No. 11-9

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	·	112070
7— — Pr		_ HP /-3		1 # F A - 1		112070

# 1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市口:	コトレ体操普及の	ためのホ	幾器購入助成	分				体等への補助金など)		
②支出の根拠		ニートレ体操普及の 要綱	補助金								
③支出先	ふれあり	☆交付要綱 (4) その他 (4) その他 (4) まかいいきいきサロン・住民主体の通いの場									
	+>1	〇国の負担な	あり	負担割合	26. 9	90%	負担額		13 千円		
④国・県の負担	なし	〇県の負担な	あり	負担割合	12. 4	10%	負担額		6 千円		
	対 象	ふれあいいきいき	サロン	及び住民主体	の通じ	の場			に対して		
⑤支出の目的	手 段	関市ロコトレ体操 機器の購入に要す	DVDを る経費	9生または投影 の助成	がする:	ための	)		を行うことで		
Эхшоны	受益者	参加者(市民)							が (を)		
		図 自主的に体操し、ロコモティブシンドロームの予防(介護予防)につなげる という状態にす									
⑥期間	R 6	6 年 4 月 <mark>1 日~R 7 年 3 月 31 日</mark> 補助開始年度 平成 31									
⑦事務局体制	主	に市の担当課	〇主	に支出先団体			その他(		)		
⑧構成員の負担	O 負	担なし	あ	たり							

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	<b>L</b> - 7										
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	草		補助率を定めて	こいる	→補助率		
①補助金の額							単価を定めてし	いるー	∳式		
(千円)	100	99	50	0 2	50		定額補助	0	その他	( 上	.限50,000円)
							概算払		前金払		
②過去における 見直し状況	なし										
@ <b>+</b> !!# <b>@</b> *#	決算額(全	È体) R6歳	入	千円	R6歳	圧	千円	翌年	度繰越額		0 千円
③支出先の決算 の状況	決算額(事	幕業) R6歳	入	73 千円	R6歳	出	73 千円	翌年	度繰越額		0 千円
- P()	R6歳入に占める補助金の割合			68.5	% C	)	全体の決算額を	・把握	<b>起していな</b>	(1)	非該当

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
USEL	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
②劝华压	支出額・補助率は適正か	適正	
	補助の目的は達成できているか	できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	運動する自主グループの減少	

①方 向 性	0	1現状のまま継続		2補助内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題	行っ	者がいなくても自主的に ているが、利用団体が少ってだけではなく関係の支持	ない。	自主グループ化の際に活	拥し	てもらえるよう、市民に

No. 11-10

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112070

# 1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市住	民主体の通いの場	事業補足	助金	分				体等への補助金など) 事業に対する補助金など)		
②支出の根拠	関市住	民主体の通いの場	補助金								
③支出先	住民主	民主体の通いの場									
	<i>+</i> > 1	○国の負担	あり	負担割合	26. 9	90%	負担額		108 千円		
④国・県の負担	なし	○県の負担	あり	負担割合	12.	40%	負担額		50 千円		
	対象	住民主体の通いの	)場						に対して		
⑤支出の目的	手 段	:講師に対する謝ネ	L及びそ	の招へいに係	る交通	費の助	力成		を行うことで		
③文山 <b>の</b> 日的	受益者	参加者(市民)							が(を)		
	意 図	専門職による適均動の活性化を図る	門職による適切な指導を受け、健康寿命の延伸、介護予防活 の活性化を図る という状態にする								
⑥期間	R 6	年 4 月 1 日	~ R	7 年 3 月	31 日	補助	開始年度	令和	1 3 年度		
⑦事務局体制	Ì	に市の担当課	ΟÌ	に支出先団体		7	の他 (		)		
⑧構成員の負担	負	担なし	なし 〇 負担あり 負担額 1団体 あたり 0~270						たり <mark>0~270, 000</mark> 円		

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	<u> </u>							
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	<b>拿</b>	補助率を定めて	ている→補助率	3
①補助金の額					0	単価を定めて	いる→算式	5,000円/回
(千円)	735	890	40	5 1, 2	00	定額補助	○ その他	(上限60,000円)
					有	概算払	前金払	
②過去における 見直し状況	なし							
@ <b>+</b> .u. <b>+</b> .e. <b>+</b> #	決算額(全	È体) R6歳	入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0 千円
③支出先の決算 の状況	決算額(事	幕業) R6歳	入	<mark>754</mark> 千円	R6歳出	754 千円	翌年度繰越額	0 千円
<b>37</b> [X,7]	R6歳入に占める補助金の割合			53.7	% O	全体の決算額	を把握していな	ま該当

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
UXJE	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
②劝平压	支出額・補助率は適正か	適正	
	補助の目的は達成できているか	できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	通いの場の立ち上げが減少する	

①方 向 性	0	1現状のまま継続		2補助内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4統合を検討		5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)		¥が、通算3年間利用可能 化した周知活動が必要。 やし、高齢者の社会参加∶	これに		から、関係機関との連携的に運営される通いの場

No. 11-11

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111220
F1	1-3 HI - 1 HI - 1-1-1		N=1/4 (H) (= 1/4)	2 21 2 214	

### 1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	老人ク	ラブ助成事業補助		分			設補助金(団体等への補助金など) 補助金(団体等事業に対する補助金など)					
②支出の根拠	関市老	人クラブ助成事業	)個人に対 )その他	個人に対する補助金 その他								
③支出先	市内の	5内の単位老人クラブ										
④国・県の負担	なし	国の負担な	あり	負担割合			負担額		千円			
伊国・泉の貝担	なし	〇県の負担	あり	負担割合	2/	3	負担額		1,010 千円			
	対象	単位老人クラブ							に対して			
⑤支出の目的	手 段	地域の見守り、健康増進活動、友愛訪問活動等の一部補助を行うことで							を行うことで			
◎文Ⅲ <b>0</b> 7日13	受益者	益者単位老人クラブに加入する高齢者						が(を)				
	意 図	意図 自らの生きがいを高め、高齢者福祉が増進される というも										
⑥期間	R 6	<mark>6 年 4 月 1 日~R 7 年 3 月 31 日</mark> 補助開始年度  昭和   50  年度										
⑦事務局体制	主	に市の担当課	こ市の担当課 〇 主に支出先団体 その他 (									
⑧構成員の負担	負	.担なし	0 負	担あり		負担額	1人	あ	たり <mark>0~約1,000</mark> 円			

#### 2 実績(見込み) 【DO】

2 大阪 (元足の)	<u> </u>								
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	算	補助率を	定めてに	いる→補助率	
①補助金の額						単価を定	めている	る→算式	
(千円)	1, 890	1, 466	1, 516	1, 6	84 O	定額補助		その他(	)
						概算払		有 前金払	
②過去における 見直し状況	平成21年度1 円に変更。	こ一律10,000	)円、補助金	を削減。	60, 0001	円を50,000円、	66, 000	円を56,000円、7	72,000円を62,000
@ <b>+</b> .u. <b>+</b> .e. <b>+</b> #	決算額(全	<b>全体)R6歳</b>	入 4,	<mark>183</mark> 千円	R6歳と	4, 183	千円翌	2年度繰越額	0 千円
③支出先の決算 の状況	決算額(事	幕業)R6歳	入	千円	R6歳と	1	千円翌	至年度繰越額	0 千円
97 N.N.	R6歳入に占	める補助金	の割合	36. 2	6	全体の決	算額を打	把握していなり	ル 非該当

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
USEL	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
②劝华庄	支出額・補助率は適正か	適正	
	補助の目的は達成できているか	達成している	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	組織活動が低下する	

①方 向 性	○ 1現状のまま継続			2補助内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題	の存	な高齢者の活力は、今後の 在は大きい。関市老人クランスの加入者数もだ。	ラブ道	重合会に加入しているクラ	ブ数	

No. 11-12

1 = .1. = =					444000
担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111220

### 1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	老人ク	ラブ助成事業補助		分		(1) 一般補助金(団体等への補助金など)(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)					
②支出の根拠	関市老.	人クラブ助成事業	補助金	交付要綱	類	(3)個人に対する補助金(4)その他					
③支出先	関市老.	<b>は</b> 市老人クラブ連合会									
<b>小国・周の各</b> 担	なし	国の負担を	あり	負担割合			負担額		千円		
④国・県の負担	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	〇県の負担を	あり	負担割合	2/	′3	負担額		1,000 千円		
	対象						に対して				
⑤支出の目的	手 段	健康増進、社会奉仕、教養事業の一部補助を行うことで							を行うことで		
@Xmv211	受益者	関市老人クラブ連合会						が(を)			
	意 図	図 組織として自立した事業を実施でき、高齢者福祉の増進に繋が という状態にする									
⑥期間	R 6	年 4 月 1 日 ~ R 7 年 3 月 31 日 補助開始年度 昭和 50 年度									
⑦事務局体制	主	に市の担当課 〇 主に支出先団体 その他 (									
⑧構成員の負担	負	担なし	旦なし O 負担あり 負担額 1クラブ あたり 14,000 円								

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	<b>L</b> - 7										
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	草	補助率を定め	ている	→補助率			
①補助金の額						単価を定めて	[いる-	→算式			
(千円)	1, 500	1, 500	0 1, 500	00 1, 5	00 0	定額補助	定額補助その何			)	
						概算払	有	前金払			
②過去における 見直し状況	なし										
@ <b>+</b> .u. <b>+</b> . <b>c</b> .+ <i>t</i>	決算額(全	È体) R6歳	入 5,	<b>479</b> 千円	R6歳出	5,394 千	円 翌年	度繰越額		85 千円	
③支出先の決算 の状況	決算額(事	幕業) R6歳	入	千円	R6歳出	千	円 翌年	度繰越額		0 千円	
<b>37 1775</b>	R6歳入に占	める補助金	の割合	27.4	%	全体の決算額	質を把握	屋していない	.1	非該当	

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題		
①妥当性	補助することが適当か		県から2/3の補助金が継続されれば		
UXJE	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	妥当であると考えられる。		
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	連合会が、単位老人クラブをまとめて		
区划平压	支出額・補助率は適正か	適正	いくという点では、重要である。		
	補助の目的は達成できているか	達成している			
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	高齢者の健康増進や社会福祉を実施していく団体への補助は有効である。		
	補助を休止・廃止した場合の影響は	組織の維持が困難となる	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		

①方 向 性	0	1 現状のまま継続	2補助内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課 題		7年4月1日現在の会員数は 最低限必要と考える。平 る。		

No. 11-13

	_					
担当課		高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111240

# 1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	高齢者	たまり	場創造事業	補助金		分				体等への補 事業に対する		
②支出の根拠	関市た	まり場	開催事業補	助金交	付要綱	類	類 (3)個人に対する補助金 (4)その他					
③支出先	(公社)	公社)関市シルバー人材センター										
<b>小国・周の各</b> 担	Oなし		国の負担を	あり	負担割合			負担額			千円	
④国・県の負担	ひなし		県の負担な	あり	負担割合			負担額			千円	
	対象	公益社	社団法人関市シルバー人材センター						に対して			
⑤支出の目的	手 段								を行うこと	とで		
③文叫 <b>0</b> 7日时	受益者								が(を)			
	意 図	図 住み慣れた地域の中で、健康で生き生きとした生活を送り、孤 という状態にする 立化や引きこもりを防ぐ									態にする	
⑥期間	R 6	年 4	4       月       1       日 ~ R       7       年       3       月       31       日       補助開始年度       平成       25       年度								年度	
⑦事務局体制	主	に市の	)担当課	Z.		その他(			)			
⑧構成員の負担	O負	担なし	•	負	担あり		負担客	Į	あっ	たり	円	

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	<u> </u>											
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	0	補助率を定めて	ている→補助率	1/2				
①補助金の額						単価を定めてし	いる→算式					
(千円)	1, 200	1, 200	1, 800	1, 8	00	定額補助	その他(	)				
					有	概算払	前金払					
②過去における 見直し状況	平成30年度。	平成30年度、令和5年度に補助対象経費および補助率を見直した										
	決算額(全	È体)R6歳	入 225,0	16 千円	R6歳出	224, 567 千円	翌年度繰越額	449 千円				
③支出先の決算 の状況	決算額(事	幕業) R6歳	入 7,6	78 千円	R6歳出	7,678 千円	翌年度繰越額	0 千円				
	R6歳入に占	める補助金	:の割合 2	23.4 9	6	全体の決算額	を把握していない	非該当				

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
USEL	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
②劝华庄	支出額・補助率は適正か	適正	
	補助の目的は達成できているか	達成できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	維持している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	利用者の利便の低下	

①方 向 性	0	1現状のまま継続		2補助内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	中心られ	的な活動メンバーが固定でる。	比して	つつあり、気軽に参加しや	すい	催しの企画や運営が求め

No. 11-14

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111800

# 1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市シ	ルバー人材センタ	一事業	補助	分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など) 〇(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)						
②支出の根拠	関市シ 綱	ルバー人材センタ	する	補助金								
③支出先	(公社)	社)関市シルバー人材センター										
	+>1	○国の負担を	あり	負担割合	市と	同額	負担額		11, 27	0 千円		
④国・県の負担	なし	県の負担で	あり	負担割合			負担額			千円		
	対象	(公社)関市シルバ	バー人材	センター					に対して			
⑤支出の目的	手 段	事業運営補助							を行うこと	:で		
②文皿 <b>0</b> 7日时	受益者	60歳以上の高齢者等が							が(を)			
	意 図	図 就業機会の確保と能力活用を促進させることができる という状態に										
⑥期間	R 6	年 4 月 1 日	~ R	7 年 3 月	31 E	補助	開始年度	昭和	Д 60	年度		
⑦事務局体制	主	に市の担当課	O È	に支出先団体	Z	2	その他(			)		
⑧構成員の負担	負	担なし	O 負	担あり		負担額	1会員	, bt	2, <b>00</b> 0	D 円		

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	K 7							
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	Ī	補助率を定め	ている→補助率	
①補助金の額						単価を定めて	ハる→算式	
(千円)	11, 270	11, 270	11, 27	0 11, 2	70 0	定額補助	その他(	)
					有	概算払	前金払	
②過去における 見直し状況								
@ <b>+</b> .u. <b>+</b> . <b>c</b> .+ <i>t</i>	決算額(全	È体) R6歳	入 225,	<mark>016</mark> 千円	R6歳出	224, 567 千円	翌年度繰越額	449 千円
③支出先の決算 の状況	決算額(事	幕業) R6歳	入 217,	338 千円	R6歳出	216,889 千円	翌年度繰越額	449 千円
<b>37 1775</b>	R6歳入に占	める補助金	の割合	5. 2 9	6	全体の決算額	を把握していない	非該当

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
UXIE	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	11:77年 しょし しゅん)	国庫補助金の上限額が市からの補助金の額と同額までとなるため、慎重に検
②刻辛注	支出額・補助率は適正か		が顔と问題までとなるため、慎重に検 討しなければならない。
	補助の目的は達成できているか		今後、元気な高齢者の労働力の活用が 求められることから、会員数の増加や
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか		就業先の拡大への支援が必要
	補助を休止・廃止した場合の影響は	利用者の利便の低下	

①方 向 性	0	1現状のまま継続	2補助内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4統合を検討	5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)		補助金の上限額は市からの 同額の国庫補助金も減額。		ため	、市の補助金を削減する

No. 11-15

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112060

# 1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市ふ	れあい	いきいきサ	ロン事	業補助金	分					
②支出の根拠		方高齢者ふれあい・いきいきサロン活動支 事業補助金交付要綱 (3)個人に対する補助金 (4)その他									
③支出先	(福)関	)関市社会福祉協議会 (i) 関市社会福祉協議会									
	0 + 1		国の負担	あり	負担割合			負担額			千円
④国・県の負担	Οなし		県の負担さ	あり	負担割合			負担額			千円
	対 象	(福)]	· 揭市社会福祉	上協議会	È					に対して	
⑤支出の目的	手 段	手 段 各地域のサロン活動の一部補助							を行うこと	:で	
③文叫 <b>0</b> 7日时	受益者	高齢者	高齢者							が(を)	
	意 図	社会的に孤立することを防ぎ、住み慣れた地域で生きがいを 持って生活できる という状態にす									にする
⑥期間	R 6	年 4	4 月 1 日~R 7 年 3 月 31 日 補助開始年度 平成 13 年度								
⑦事務局体制	主	に市の	)担当課	É O	Eに支出先団体	<u>.</u>		その他(			)
⑧構成員の負担	負	担なし	,	O 負	負担あり		負担額	1人	あた	±り 100~5	00 円

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	K 7								
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	軍	補助率を定め	ている→補助率		
①補助金の額						単価を定めて	いる→算式		
(千円)	2, 700	2, 800	3, 000	0 3, 0	00 0	定額補助 その他 (		)	
					有	概算払	前金払		
②過去における 見直し状況	令和6年度に補助額を20万円増額								
@ <b>+</b> .u. <b>+</b> .e. <b>+</b> #	決算額(全	È体) R6歳	入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0 千円	
③支出先の決算 の状況	決算額(事	幕業) R6歳	入 6,	<mark>012</mark> 千円	R6歳出	6,012 千円	翌年度繰越額	0 千円	
97 N.N.	R6歳入に占める補助金の割合			49.9 9	6 O	全体の決算額	を把握していない	非該当	

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性 補助することが適当か		適当	
UXJE	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
②劝平压	支出額・補助率は適正か	適正	
	補助の目的は達成できているか	達成している	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	サロン活動が減少する	

①方 向 性	1現状のまま継続	0	2補助内容を見直す		3縮小・減額を検討
(複数選択可)	4統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
	ンへの延参加者数は、令 <sup>5</sup> 増加に伴い、補助金額の			度が	15, 959人であった。参加

No. 11-16

Les Alv Em			1	64 de la 11 de		1000100
担当課	高齢福祉課	室・部・局		健康福祉部	予算事業コード	1300462

### 1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市認	関市認知症カフェ補助金						金(団体等への補助金など)		
②支出の根拠	関市認	知症カフェ補助金	細	類	分 ○ (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など) 類 (3)個人に対する補助金 (4)その他					
③支出先	認知所	忍知所カフェ実施団体								
<b>小国・周の各</b> 担	なし	〇国の負担な	あり	負担割合	38. 5	0%	負担額		2	96 千円
④国・県の負担	なし	〇県の負担な	あり	負担割合	19. 2	5%	負担額		1	48 千円
	対象認知症カフェ実施団体								に対して	
⑤支出の目的	手 段	段認知症カフェを行う経費の一部補助を行							を行うこ	とで
③文曲07日 lb	受益者	受益者認知症の方やその家族、地域住民							が(を)	
	意 図	意図認知症に対する理解を深め、介護負担を軽減する という状態								態にする
⑥期間	R 6	年 4 月 1 日	~ R	7 年 3 月	31 日	補助	開始年度	平瓦	<b>ኒ 30</b>	年度
⑦事務局体制	主	に市の担当課	O È	に支出先団体			その他(			)
⑧構成員の負担	負	担なし	0 負	O 負担あり 負担額 あた					<b>-</b> 9	円

#### 2 実績(見込み) 【DO】

	<u> </u>								
	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	<b>拿</b>	補助率を定め	ている→補助率		
①補助金の額			768	1, 1		単価を定めて	いる→算式		
(千円)	408	732			40	定額補助	〇 その他 (	上限60,000円)	
					有	概算払	前金払		
②過去における 見直し状況	R2年度に補助金を概算払か精算払にするか選べるように改正した。								
@ <b>+</b> .u. <b>+</b> .e. <b>+</b> #	決算額(全	È体) R6歳	入	千円	R6歳と	千円 千円	翌年度繰越額	0 千円	
③支出先の決算 の状況	決算額(事	耳業) R6歳	入 1,	<mark>034</mark> 千円	R6歳と	1,034 千円	翌年度繰越額	0 千円	
<b>37 1770</b>	R6歳入に占める補助金の割合			74.3	% O	全体の決算額	を把握していなり	非該当	

### 3 事後評価 【CHECK】

	評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
UXJE	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
②劝平压	支出額・補助率は適正か	適正	
	補助の目的は達成できているか	達成できている	
③有効性	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	実施団体の減少	

①方 向 性	0	1現状のまま継続	2補助内容を見直す	3縮小・減額を検討
(複数選択可)		4 統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課 題	補助	度に補助金交付要綱を改 継続の要望があった。今行 いく。		